

## 中国の記事から (WTO/FTA・貿易・安全 ・その他)

---

2006年10月31日号

### 目次

- ◎燃料用エタノール産業の発展計画を年内に打ち出す  
【市場報(人民日報主辦) 2006年10月23日】
- ◎農業部エコノミスト「中国の農産物貿易は輸入超過」  
【国際商報 2006年10月25日】
- ◎河北省の農産物輸出が回復、日本向けも増加  
【国際商報 2006年10月30日】
- ◎温家宝総理、ASEANとの協力強化で4提案  
【経済日報 2006年10月31日】
- ◎1～9月の全国の農林水産物の生産者価格は0.3%下げ  
【経済日報 2006年10月31日】
- ◎全国で洪水と干ばつの被害が拡大  
【国際商報 2006年10月31日】

---

#### ◎燃料用エタノール産業の発展計画を年内に打ち出す

【市場報(人民日報主辦) 2006年10月23日】

国家発展改革委員会工業司の劉群・研究員は、2006年国際バイオ燃料総会にて、国は年内にも急成長する燃料用エタノール産業の発展計画を打ち出す予定であることを明らかにした。同産業を新たに位置付けし、政策的に支援、産業配置の合理化、市場参入の厳格化などを図る見込み。全国には現在、燃料用エタノール生産拠点が建設されており、2005年末現在の生産能力は102万トン、年間に1020万トンのエタノール混合ガソリンを生産する能力がある。また、黒龍江省、吉林省、遼寧省、河南省、安徽省の全省、湖北省、山東省、河北省、江蘇省の一部地区では、自動車用エタノール燃料普及が試験的に行われている。

---

### ◎農業部エコノミスト「中国の農産物貿易は輸入超過」

【国際商報 2006年10月25日】

農業部の張玉香ゼネラルエコノミスト(市場・経済情報司長)は、22日、2001年末のWTO加盟以降、中国の農産物輸入は急速に増加、農産物貿易は加盟前の黒字から赤字に転換、輸入は現在も増え続けているとの見方を示した。2005年の中国農産物貿易額は全国貿易額の3.9%にあたる563億ドルを記録。内訳は輸出が全国の3.7%にあたる275億9千万ドル、輸入額は同4.3%相当の287億1千万ドルとなり、11億4千万ドルの赤字を記録している。

張ゼネラルエコノミストは、「中国は世界的にも農産物開放度が最も高い国の1つであり、農産物輸入関税率は平均15.2%(世界平均の4分の1以下)にとどまっている。また、輸出に際しては諸外国が技術的な障壁を設けているという問題に直面している。中国農業は構造調整が進んでいるが、生産規模が小さいなどの原因により競争力はまだ高くない」としている。

---

### ◎河北省の農産物輸出が回復、日本向けも増加

【国際商報 2006年10月30日】

河北省の石家庄市税関は、9月の全省農産物輸出額が前月を24.5%上回る6646万ドルと今年の月間最高を記録したと発表した。

また、1～9月の農産物輸入額は前年同期比31.4%増の5億9800万ドル、輸出額は同2.1%増の5億400万ドルであった。2001年のWTO加盟後、河北省の農産物輸出は増加していたが、今年に入って欧米諸国が衛生検査を強化、6月以降は日本が残留農薬規制強化策としてポジティブリスト制を導入した影響で、農産物輸出は3カ月連続で減少していた。9月に入って輸出が増加した要因として、

1. ポジティブリスト制に対応できるようになった。

(9月の日本向け輸出額は8月比43.1%増の2440万ドル)

2. 輸出税還付率引き上げによって植物油、ケーシングなどの加工製品輸出が増えた。などが挙げられている。
- 

### ◎温家宝総理、ASEANとの協力強化で4提案

【経済日報 2006年10月31日】

温家宝総理は30日、広西チワン族自治区南寧市で開かれた中国－ASEAN対話関係15周年記念サミットにASEAN各国首脳らと共に出席、演説を行い、双方の関係を新たな段階に引き上げるためとして以下の提案を行った。

1. 戦略的協力を維持、双方のハイレベルの交流、政府・議会・政党間の交流を強化し信頼関係を増進する。ASEANプラス3(中国・日本・韓国)体制を東南アジアにおける主要な協力方法とするほか、国連の権威・役割を維持し、国際政治・経済秩序を公正かつ合理的な方向へと発展させていく。

2. 「中国－ASEAN 全面的経済協力枠組協定」の下、経済・貿易協力文書を拡大・深化させていく。貨物貿易協定を着実に実施、サービス貿易と投資に関する協議も積極的に行い、中国－ASEAN自由貿易体制作りを加速させていく。
3. 安全の維持。軍事的対話・交流を促進、国防に関する協力を展開し、「南シナ海における関係国の行動宣言」を着実に実施し同海域の共同開発を進める。  
また、中国は「東南アジア無核兵器区条約」を早期に締結できるよう希望している。反テロリズム、国際犯罪などの取り締まり、災害救助などの分野でも協力を強化すべき。
4. 科学技術、文化・教育・スポーツなどの分野での協力を促進していく。

---

### ◎1～9月の全国の農林水産物の生産者価格は0.3%下げ

【経済日報 2006年10月31日】

国家統計局は、全国の農林水産物生産業者3万1千社を対象に行った価格調査の結果を発表、1～9月の全国の農林水産物生産者価格は前年同期より0.3%安となったと発表した。農林水産物の生産者価格は農産物4.6%高、林産物12.7%安、水産物3.0%安、畜産物9.1%安を記録した。農産物のうち穀類が0.9%高、小麦0.3%安、コメ1.0%高、トウモロコシ1.1%高、豆類4.5%安、イモ類11.4%高となった。綿花価格は12.8%高、搾油原料植物0.5%安、製糖原料25.1%高、野菜10.6%高、果物12.4%高、茶葉6.5%高、タバコ1.5%高であった。

また、林産物では木材価格が6.0%高、竹材は14.1%高、畜産物ではブタが14.2%安、肉牛は0.1%安、家禽は6.1%安、タマゴは7.4%安、乳製品は3.2%高、水産物は5.8%高を記録している。

---

### ◎全国で洪水と干ばつの被害が拡大

【国際商報 2006年10月31日】

洪水・干ばつの予防・整備を担当する国家防ジン抗旱総指揮部弁公室は、10月中旬現在、全国29省(直轄市、自治区)、新疆生産建設兵団(辺境を開墾する準軍事組織)で洪水被害が発生していることを明らかにした。洪水による農産物の被害面積は1億5千万ムー(1ムーは6.6アール)、被害を受けた人は1億4493万人、死者・行方不明者2315人、倒壊家屋86万7千軒、直接的経済損失額は1272億元に上っている。特に福建省、湖南省、浙江省、広東省、江西省、広西チワン族自治区での被害は深刻である。

一方、華北地区の北部、東北地区の西部、西南地区、西北地区では今年に入って干ばつ被害が発生。4月、全国耕地の干ばつ被害面積は2億6400万ムー(例年同期より4600万ムー増)に上り、夏季以降は重慶市、四川省で干ばつ被害が拡大、貴州省北部、遼寧省西部、内モンゴル自治区シリングル草原(錫林郭勒草原)でも大規模な干ばつが発生。8月下旬までに全国農産物の干ばつ被害面積は1億7100万ムー(例年同期より3千万ムー増)となった。

現在、全国耕地の干ばつ被害面積は381万ムー、452万人、家畜435万頭の飲用水が不足している。今年、全国の干ばつによる農産物被害面積、洪水による死者、災害による経済的損失

はいずれも1998年以来で最大の規模に達している。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により  
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て  
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。